



平成22年9月17日

仏壇等で使用するろうソク（灯明）による火災にご注意を！

～ 高齢者の死傷者が多く発生しています ～

東京消防庁では、お彼岸を迎えるにあたり、仏壇等で使用するろうソク（灯明）の取扱いについて注意を呼びかけています。

【火災発生状況】

1 灯明による火災状況

灯明による火災は、最近5年間で111件発生し、死者4人、負傷者75人と多くの方が受傷しており、そのうち60歳以上が死者4人、負傷者47人で死傷者の6割以上となっています。本年は8月31日現在で21件発生し、焼損床面積は1,043㎡と昨年の767㎡をすでに上回っています。

また、最近5年間で60歳以上の方が灯明を取り扱って火災となったものは73件で、灯明による火災の7割近くを占めています。

2 灯明による着衣着火の状況

灯明による火災のうち、点灯後にお供え物や仏壇内の整理中、着ている衣類に着火した火災（以下「着衣着火」という。）は、最近5年間で23件発生し、負傷者が24人となっています。そのうち60歳以上が21人と負傷者の9割近くを占め、発生率が高くなっています。

【火災を防ぐために】

- 1 灯明の点火後に、風や振動などで倒れて周囲の可燃物に着火して出火する場合があることから、窓の開放等にも注意が必要です。
- 2 灯明を点火後、ろうソクが短くなって近くの可燃物に燃え移り出火する場合があることから、周囲の可燃物にも配慮する必要があります。
- 3 お供え物などで手を伸ばした際、着ている衣類に着火する場合があることから、手元への注意も必要です。
- 4 ろうソク立てのサイズに合わないろうソクを使用したため、ろうソクの底部が割れるなど、ろうソク立てから落下する場合があります。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

問い合わせ先

（東京消防庁（代） 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5062 5065
広報課報道係 内線 2345～2350）

【別紙】

＜最近5年間（平成17～21年）の灯明による火災の状況＞

1 年別火災状況

年 別	火災の件数							焼 損 床 面 積 (m^2)	焼 損 表 面 積 (m^2)	死 者	負 傷 者
	合 計	建 物					そ の 他				
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					
合 計	111	110	6	10	40	54	1	1,560	558	4	75
平成17年	26	26	2	4	9	11	-	455	234	-	24
平成18年	11	11	1	-	6	4	-	122	20	-	7
平成19年	16	16	-	3	4	9	-	237	105	1	11
平成20年	33	33	1	1	16	15	-	470	154	3	20
平成21年	25	24	2	2	5	15	1	276	45	-	13
平成22年	21	21	4	2	7	8	-	1,043	48	1	15

※1 合計欄の数値は、平成17年から平成21年の合計値です。

※2 平成22年の数値は8月31日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

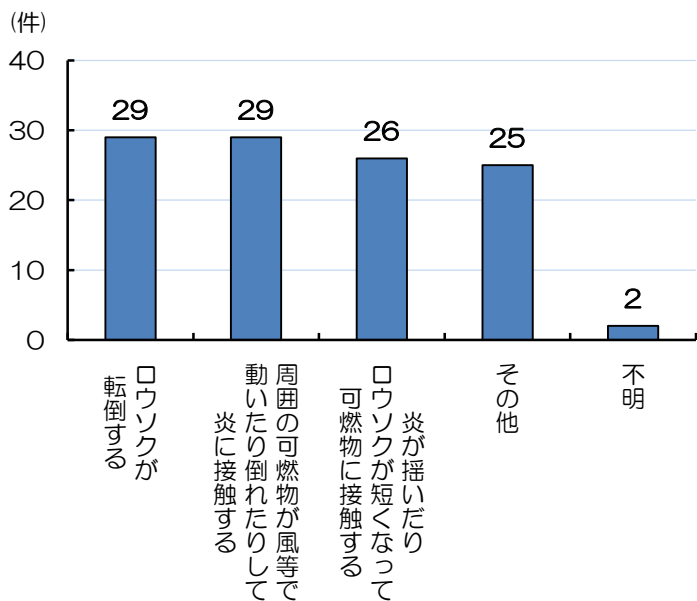
2 着衣着火による火災状況

年 別	灯 明 に よ る 火 災	着 衣 着 火	着 衣 着 火 に よ る 死 者	着 衣 着 火 に よ る 負 傷 者
合 計	111	23	-	24
平成17年	26	3	-	3
平成18年	11	2	-	3
平成19年	16	4	-	4
平成20年	33	9	-	9
平成21年	25	5	-	5
平成22年	21	2	-	2

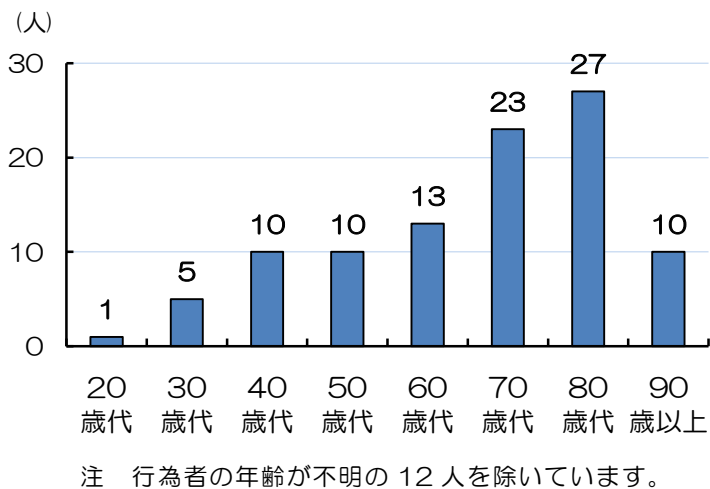
※1 合計欄の数値は、平成17年から平成21年の合計値です。

※2 平成22年の数値は8月31日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

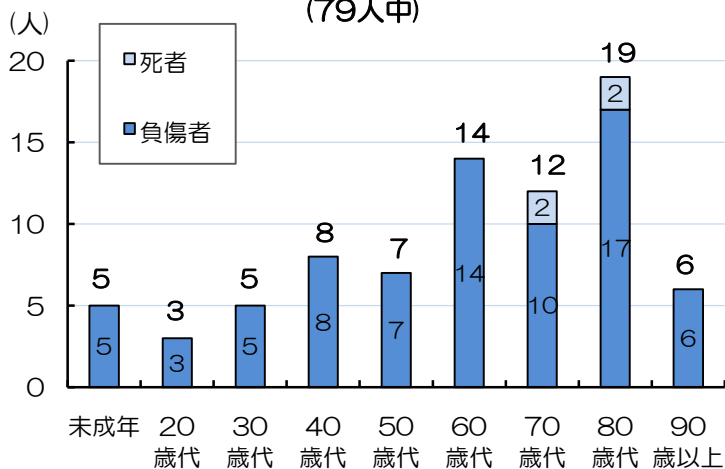
3 灯明火災に至る要因別件数(111件中)



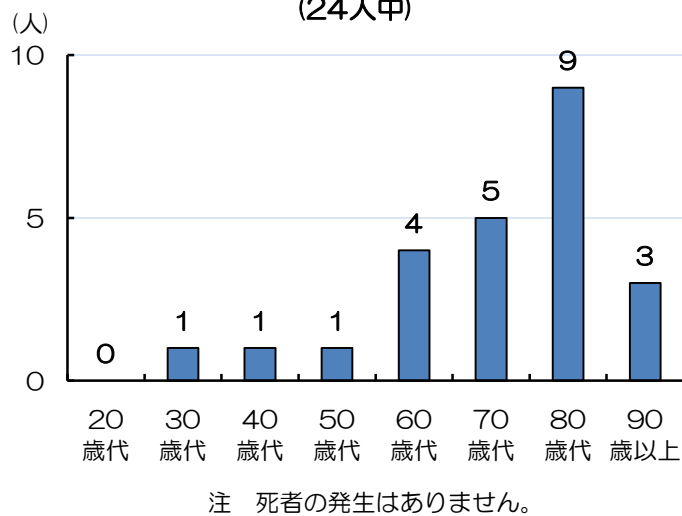
4 灯明の取扱者の年齢別状況 (111件中)



5 灯明火災の死傷者の年齢別状況 (79人中)



6 着衣着火の負傷者の年齢別状況 (24人中)



【火災事例】

事例1 「灯明の火が着衣に着火した火災」

出火日時 平成 21 年 8 月 0 時ごろ

用途等 住宅 防火造 2/0 延 120 m²

被害状況 建物ぼや 衣類若干焼損 負傷者 1 人

概要

この火災は、住宅の 1 階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者の女性（80 歳代）がお盆のため、座卓上に灯明・位牌等を置いた後、花瓶の位置が気になったために移動させようとした際、灯明の火がパジャマの袖に着火し出火したものです。

発見、通報及び初期消火は、袖部分が燃えているのに気付いた居住者が、燃えている着衣を両手ではたき消し、脱いだ衣類を台所のシンクに水道水をためて消火しました。その後、火傷の痛みがひどくなってきたため、自宅の電話から 119 番通報をしています。

写真 1 - 1 灯明付近の状況



写真 1 - 2 焼損した衣類の状況



事例2 「灯明が転倒したために出火し、死者が発生した火災」

出火日時 平成19年9月 19時ごろ

用途等 住宅 防火造2/0 延122㎡

被害状況 建物半焼1棟、ぼや1棟 計2棟82㎡焼損 死者1人

概要

この火災は、住宅の1階玄関から出火し、居住者の女性（70歳代）が死亡したものです。

出火原因は、居住者の女性が、自宅の玄関に置かれた仏壇に灯明を供えていたところ、灯明が倒れ近くにあった可燃物に着火し出火したものです。

出火した建物は、この女性と息子の二人で住んでいましたが、出火当時、息子は仕事で外出しており、この女性一人しか居ませんでした。

近隣者が、物音により火災に気づき、「火事だ、助けて」と言いながら周りの人に火災を知らせました。

隣の人が騒ぎを聞いて外に出ると、隣の家から炎が出ていたので、すぐに自宅の電話で119番通報しました。

初期消火はありませんでした。

写真2-1 仏壇付近の状況



写真2-2 灯明台とライター（○印）



【資料映像】

1 灯明が着衣に着火した状況



2 灯明が転倒して座布団に着火した状況



3 灯明が時間経過とともに短くなり
可燃物に着火した状況



4 灯明が転倒してお供え物に着火した状況

